

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年7月分【埋立中共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

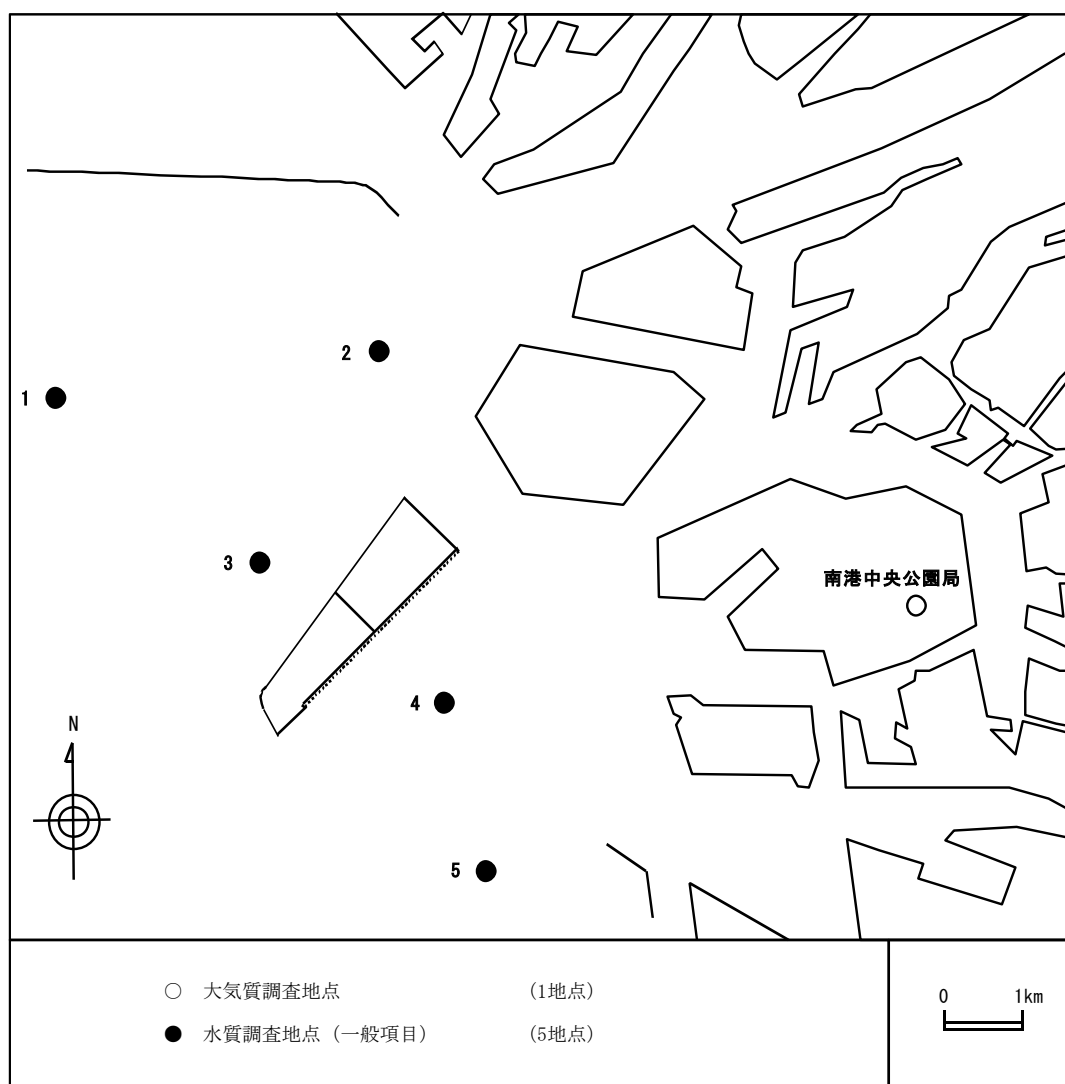
「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年7月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1に、調査地点の位置は図－1に示すとおりである。

表－1（1）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	7月1日～31日	通年連続

表－1（2）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

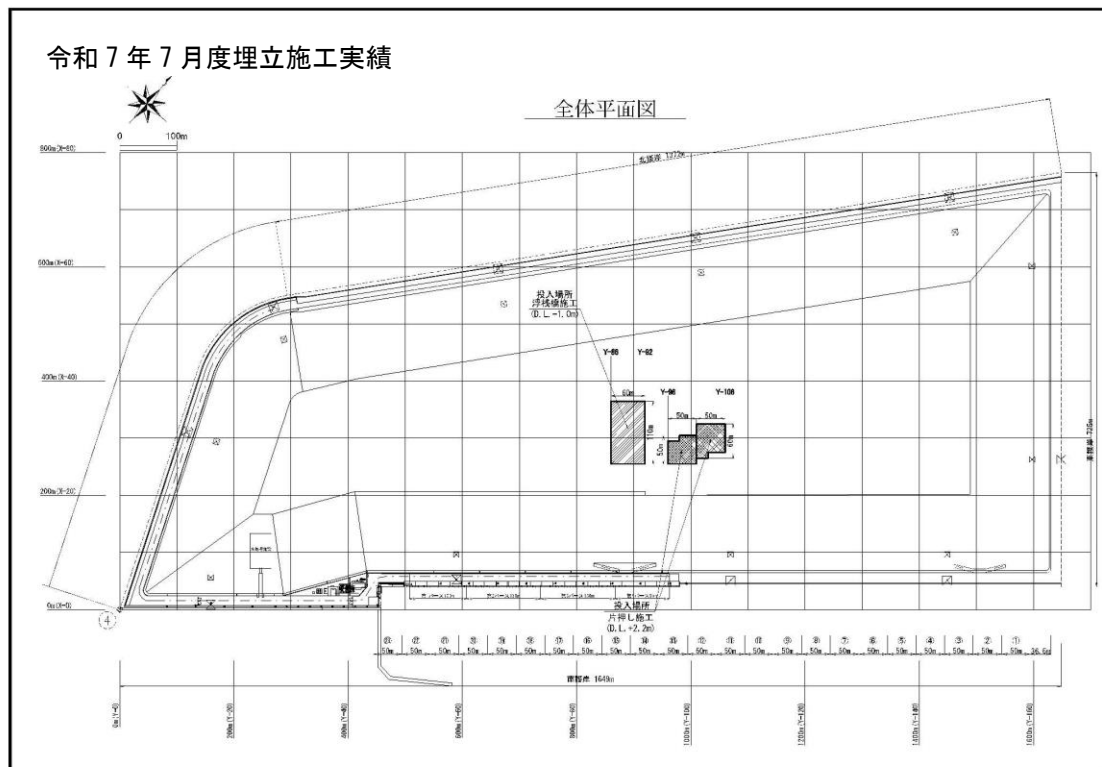
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	7月1日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			



図－1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和 7 年 7 月の工事の実施状況は、図－2 に示すとおりである。



埋立量(m³)	進捗率(%)
8,280,610.1	59.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.005ppm、1時間値の最高値は 0.007ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.013ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³ 以下、1時間値 0.20mg/m³ 以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.023mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.064mg/m³、1時間値の最高値は 0.117mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.5～8.7、下層で 7.8～8.0 であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (8.7)、調査地点 2 (8.5) 及び調査地点 3～5 (8.6) であった。調査地点 1 で、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の上層の 7.7～8.6 を超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって pH が環境基準値を上回っていたため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 5.4～6.6mg/L、下層で 2.0～2.6mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (6.6mg/L)、調査地点 2 (5.4mg/L)、調査地点 3 (6.1mg/L)、調査地点 4 (6.4mg/L) 及び調査地点 5 (5.8mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）の上層の 1.6～4.9mg/L を超過していたが、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点においても、広範囲にわたって COD が環境基準値を上回っていたため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 11～12mg/L、下層で 3.9～5.7mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 1 (3.9mg/L) 及び調査地点 2 (4.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6～11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.39～0.93mg/L、下層で 0.17～0.48mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 3 (0.93mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響は非常に小さいと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.050～0.079mg/L、下層で 0.021～0.041mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.066mg/L)、調査地点 2 (0.079mg/L)、調査地点 3 (0.063mg/L) 及び調査地点 4 (0.069mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層でいずれも 1 度(カリン)、下層で 1～2 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 5～11mg/L、下層で 2～5mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 9.1～26µg/L、下層で 0.9～1.9µg/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注）1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目		事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [－]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	－
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	－
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表〔令和7年7月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和7年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
別 値	1 (火)	0.004	0.006
	2 (水)	0.005	0.007
	3 (木)	0.005	0.006
	4 (金)	0.005	0.007
	5 (土)	0.005	0.006
	6 (日)	0.005	0.007
	7 (月)	0.004	0.005
	8 (火)	0.004	0.006
	9 (水)	0.004	0.006
	10 (木)	0.004	0.006
	11 (金)	0.003	0.004
	12 (土)	0.003	0.004
	13 (日)	0.003	0.004
	14 (月)	0.003	0.004
	15 (火)	0.004	0.006
	16 (水)	0.003	0.004
	17 (木)	0.003	0.004
	18 (金)	0.003	0.004
	19 (土)	0.003	0.004
	20 (日)	0.003	0.004
	21 (月)	0.003	0.005
	22 (火)	0.003	0.004
	23 (水)	0.004	0.004
	24 (木)	0.004	0.005
	25 (金)	0.004	0.005
	26 (土)	0.003	0.004
	27 (日)	0.003	0.004
	28 (月)	0.004	0.005
	29 (火)	0.004	0.005
	30 (水)	0.004	0.005
	31 (木)	0.004	0.004
有効測定日数(日)		31	
測定時間(時間)		742	
月平均値(ppm)		0.004	
日平均値の最高値(ppm)		0.005	
1時間値の最高値(ppm)		0.007	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号 (埋立地関連)

一酸化窒素測定結果 [令和7年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (火)	0.003	0.014
	2 (水)	0.003	0.011
	3 (木)	0.003	0.009
	4 (金)	0.005	0.029
	5 (土)	0.001	0.005
	6 (日)	0.001	0.003
	7 (月)	0.002	0.006
	8 (火)	0.002	0.013
	9 (水)	0.006	0.016
	10 (木)	0.010	0.036
	11 (金)	0.004	0.018
	12 (土)	0.002	0.009
	13 (日)	0.001	0.003
	14 (月)	0.004	0.015
	15 (火)	0.003	0.008
	16 (水)	0.004	0.015
	17 (木)	0.010	0.034
	18 (金)	0.010	0.033
	19 (土)	0.004	0.020
	20 (日)	0.003	0.009
	21 (月)	0.005	0.024
	22 (火)	0.004	0.013
	23 (水)	0.007	0.018
	24 (木)	0.008	0.018
	25 (金)	0.009	0.034
	26 (土)	0.005	0.012
	27 (日)	0.003	0.007
	28 (月)	0.005	0.015
	29 (火)	0.005	0.013
	30 (水)	0.004	0.010
	31 (木)	0.003	0.007
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		740	
月 平 均 値 (ppm)		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.010	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.036	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [令和7年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (火)	0.020	0.043
	2 (水)	0.022	0.045
	3 (木)	0.021	0.032
	4 (金)	0.017	0.033
	5 (土)	0.011	0.018
別	6 (日)	0.011	0.028
	7 (月)	0.016	0.030
	8 (火)	0.019	0.028
	9 (水)	0.015	0.025
	10 (木)	0.015	0.035
	11 (金)	0.013	0.022
	12 (土)	0.011	0.018
	13 (日)	0.009	0.015
	14 (月)	0.012	0.024
	15 (火)	0.013	0.028
	16 (水)	0.018	0.034
	17 (木)	0.014	0.021
	18 (金)	0.012	0.018
	19 (土)	0.007	0.012
	20 (日)	0.007	0.011
値	21 (月)	0.007	0.014
	22 (火)	0.009	0.014
	23 (水)	0.010	0.014
	24 (木)	0.011	0.016
	25 (金)	0.012	0.018
	26 (土)	0.010	0.014
	27 (日)	0.007	0.013
	28 (月)	0.011	0.017
	29 (火)	0.012	0.022
	30 (水)	0.014	0.027
	31 (木)	0.013	0.023
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		740	
月 平 均 値 (ppm)		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.022	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.045	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号（埋立地関連）

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果〔令和7年7月分〕

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ ／(NO+NO ₂) (%)	
日 別 値	1 (火)	0.023	88.3	0.046
	2 (水)	0.025	88.3	0.047
	3 (木)	0.023	88.6	0.039
	4 (金)	0.021	78.6	0.062
	5 (土)	0.012	89.6	0.021
	6 (日)	0.012	91.8	0.029
	7 (月)	0.018	89.5	0.031
	8 (火)	0.022	88.8	0.041
	9 (水)	0.021	71.5	0.039
	10 (木)	0.025	60.8	0.071
	11 (金)	0.018	74.6	0.034
	12 (土)	0.013	82.5	0.026
	13 (日)	0.010	88.9	0.016
	14 (月)	0.016	77.6	0.039
	15 (火)	0.016	83.2	0.036
	16 (水)	0.022	82.8	0.049
	17 (木)	0.024	59.3	0.055
	18 (金)	0.021	55.0	0.048
	19 (土)	0.011	64.9	0.029
	20 (日)	0.010	69.3	0.017
	21 (月)	0.012	59.1	0.035
	22 (火)	0.013	67.8	0.023
	23 (水)	0.017	59.6	0.031
	24 (木)	0.019	55.6	0.034
	25 (金)	0.020	56.5	0.049
	26 (土)	0.014	68.4	0.026
	27 (日)	0.010	73.4	0.020
	28 (月)	0.015	69.3	0.030
	29 (火)	0.017	71.8	0.028
	30 (水)	0.017	79.3	0.035
	31 (木)	0.015	82.1	0.029
有 効 測 定 日 数 (日)		31		
測 定 時 間 (時間)		740		
月 平 均 値 (ppm)		0.017		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.025		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.071		
月 平 均 値 NO ₂ ／(NO+NO ₂) (%)		74.7		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂／(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂／(NO+NO₂)＝

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和)／

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果 [令和7年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別	1 (火)	0.028	0.062
	2 (水)	0.036	0.070
	3 (木)	0.041	0.056
	4 (金)	0.048	0.109
	5 (土)	0.064	0.117
	6 (日)	0.048	0.111
	7 (月)	0.029	0.053
	8 (火)	0.049	0.081
	9 (水)	0.056	0.091
	10 (木)	0.024	0.058
別	11 (金)	0.013	0.037
	12 (土)	0.016	0.038
	13 (日)	0.016	0.036
	14 (月)	0.010	0.046
	15 (火)	0.016	0.045
	16 (水)	0.030	0.053
	17 (木)	0.010	0.024
	18 (金)	0.010	0.033
	19 (土)	0.013	0.031
	20 (日)	0.011	0.029
値	21 (月)	0.009	0.024
	22 (火)	0.011	0.048
	23 (水)	0.011	0.025
	24 (木)	0.011	0.037
	25 (金)	0.010	0.026
	26 (土)	0.013	0.040
	27 (日)	0.012	0.046
	28 (月)	0.012	0.029
	29 (火)	0.013	0.026
	30 (水)	0.017	0.031
	31 (木)	0.020	0.038
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		742	
月 平 均 値 (mg/m ³)		0.023	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.064	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.117	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号 (埋立地関連)

気象観測結果（風向・風速）[令和7年7月分]

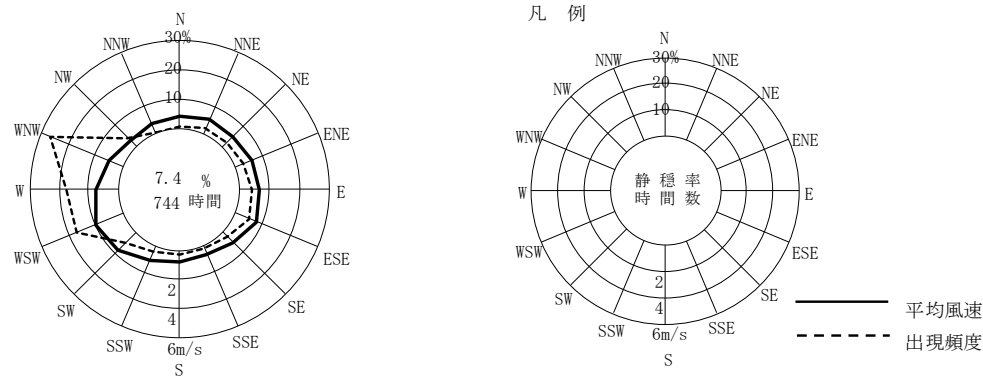
測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (火)	1.2	2.4	WSW	W
	2 (水)	1.0	2.2	W	W
	3 (木)	1.1	2.7	W	WNW
	4 (金)	1.1	2.3	W	WNW
	5 (土)	1.3	2.7	SW	SW
別	6 (日)	1.3	2.5	WSW	WSW
	7 (月)	1.2	2.3	W	W
	8 (火)	0.8	1.7	SW	WNW
	9 (水)	1.2	3.3	W	WNW
	10 (木)	1.1	4.0	SW	ENE
	11 (金)	0.9	2.1	WSW	WSW
	12 (土)	1.2	3.6	W	WSW
	13 (日)	1.3	3.4	WSW	W
	14 (月)	1.6	2.4	E, ESE	ESE
	15 (火)	1.3	2.2	SSW	SSW
	16 (水)	1.0	2.1	W	WNW
	17 (木)	1.1	2.5	ESE	ESE
	18 (金)	1.1	2.1	WNW	ESE
	19 (土)	1.6	4.0	W	WNW
	20 (日)	1.3	3.7	WSW	WNW
値	21 (月)	1.3	3.1	W	WNW
	22 (火)	1.4	3.2	W	W
	23 (水)	1.3	2.8	WSW	WSW
	24 (木)	1.3	2.9	WSW	WNW
	25 (金)	1.4	3.7	WSW	WNW
	26 (土)	1.4	4.0	W	W
	27 (日)	1.3	2.9	WSW	WNW
	28 (月)	1.3	2.4	WSW, W	WNW
	29 (火)	1.4	3.5	WSW	WNW
	30 (水)	1.5	3.8	WSW	WNW
	31 (木)	1.5	3.0	WSW	W
測 定 時 間 (時間)		744			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.3			
月 最 大 風 速 (m/s)		4.0			
月 最 多 風 向 (16方位)		WNW			

注： 1. 1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和 7 年 7 月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度 数	14	15	21	28	36	17	7	11	14	37	124	129	196	31	3	6	55	744
頻 度 (%)	1.9	2.0	2.8	3.8	4.8	2.3	0.9	1.5	1.9	5.0	16.7	17.3	26.3	4.2	0.4	0.8	7.4	-
平均風速 (m/s)	1.1	1.0	1.2	1.3	1.5	1.0	0.6	0.8	1.1	1.7	2.0	1.5	1.0	0.6	0.7	0.9	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和 7 年 7 月分]

水質様式第 1 号

水質調査結果（一般項目）〔令和 7 年 7 月分〕

調査日：令和7年7月1日

調査点 項目		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻		8:15	7:55	8:30	9:03	8:48	-			-
透明度 [m]		1.0	1.5	2.1	2.2	2.0	1.0	～	2.2	1.8
水温	[℃]	26.2	26.3	25.2	26.4	27.2	25.2	～	27.2	26.3
		19.2	20.1	19.9	20.2	20.0	19.2	～	20.2	19.9
塩分	[－]	24.1	21.9	25.9	24.4	24.8	21.9	～	25.9	24.2
		32.1	31.8	31.9	32.0	32.0	31.8	～	32.1	32.0
濁度	[度(カリン)]	1	1	1	1	1	1	～	1	1
		2	2	2	1	1	1	～	2	2
浮遊物質 量 (SS)	[mg/L]	11	9	8	7	5	5	～	11	8
		3	5	5	2	2	2	～	5	3
水素イオン濃度 (pH)	[－]	8.7	8.5	8.6	8.6	8.6	8.5	～	8.7	-
		7.8	7.9	8.0	8.0	8.0	7.8	～	8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	6.6	5.4	6.1	6.4	5.8	5.4	～	6.6	6.1
		2.0	2.6	2.0	2.0	2.0	2.0	～	2.6	2.1
溶存酸素量 (DO)	濃 度 [mg/L]	12	11	11	12	11	11	～	12	11
	飽和度 [%]	3.9	4.2	5.2	5.6	5.7	3.9	～	5.7	4.9
全窒素 (T-N)	[mg/L]	171	155	155	172	160	155	～	172	163
		51	56	69	75	76	51	～	76	65
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.58	0.57	0.93	0.55	0.39	0.39	～	0.93	0.60
		0.28	0.48	0.21	0.17	0.18	0.17	～	0.48	0.26
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.066	0.079	0.063	0.069	0.050	0.050	～	0.079	0.065
		0.037	0.041	0.027	0.021	0.022	0.021	～	0.041	0.030
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	26	24	18	19	9.1	9.1	～	26	19
		1.1	1.9	1.5	0.9	1.5	0.9	～	1.9	1.4

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
